

報道関係各位

「Tokyo Midtown Award 2012」ニュースレター 第 1 号

次世代を担うアーティスト・デザイナーを発掘・応援する、東京ミッドタウンの取り組みをお届けします！

7 月 5 日(木)より「安心」をテーマにしたデザイン作品の募集を開始

今年開業 5 周年を迎えた東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、街のコンセプトである「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”を目指す一環として、毎年、アートコンペとデザインコンペからなる「Tokyo Midtown Award」を開催しています。

過去 4 回の開催で、延べ応募者数約 5 千組の中から、アートコンペでは 15 組、デザインコンペでは 37 組の受賞者が生まれ、活躍の場を広げています。今年は、「Tokyo Midtown Award」開催 5 回目という節目を迎えるにあたり、若手の登竜門となるべく受賞アーティスト・デザイナーにさらなる活躍の場をご提供できるよう、コンペティション後の支援を強化していきます。

<目次>

1. 「Tokyo Midtown Award 2012」デザインコンペ 募集期間 7 月 5 日(木)～8 月 2 日(木)必着
2. <デザインコンペ>審査員からのコメント
3. 「Tokyo Midtown Award」デザインコンペ 受賞作品の商品化事例
4. 今後のスケジュール
5. 六本木のデザインとアートと人をつなぐ WEB マガジンサイト「六本木未来会議」更新中！

1. 「Tokyo Midtown Award 2012」デザインコンペ 募集期間 7 月 5 日(木)～8 月 2 日(木)必着

6 月 7 日(木)にアートコンペの募集が終了し、7 月 5 日(木)から、いよいよデザインコンペの募集が開始されます。今年のテーマは「安心」。現代社会で一層重要性を増す「安心」。都心の日常生活に役立つ「安心」をテーマにしたデザイン作品を募集します。

また、東京ミッドタウンは、デザインコンペの入賞作品の商品化を積極的にサポートしています。これまでに 5 作品の商品化が実現し、全国各地のセレクトショップなどで販売され、話題を呼んでいます。さらに今年は、海外で行われるデザインイベントへの視察、東京ミッドタウンの館内装飾や商業の販売促進プロモーションで受賞者を起用するなど、様々な場面で活躍の場を創出していきます。

2. <デザインコンペ> 審査員からのコメント



photo by Hiromi Shinada

小山薫堂/Kundo KOYAMA
(放送作家/脚本家)

気掛かりなことがなく、心が落ち着き安んじること・・・それが安心です。
思えば、常に締め切りに追われている自分は、気がかりなことだらけ。
数多くの素晴らしいデザインに出会うことで、自分の心が少しでもその苦しみから解放されるかもしれない・・・そう考えたら、5 回目となる今回の審査会が待ち遠しくて仕方ありません。みなさんの力作、期待しています。



佐藤 卓／Taku SATOH
(グラフィックデザイナー / 佐藤卓デザイン事務所 代表取締役)

安心できる建物。安心できる食べ物。安心できる地面。安心できる人。安心は、まさしく信じて安らげる、あるいは守られて安らげるということ。しかし、震災のような大自然の猛威に突然出くわすかもしれない日常に、本当の安心というものがそもそもあるのでしょうか。それが分かっている、人は安心を求めます。いったい安心して、なんなのでしょう？多様な考え方による、楽しい作品に出会えることを期待しています。



photo by:Seiji Tonomura

柴田文江／Fumie SHIBATA
(インダストリアルデザイナー / Design Studio S 代表)

今年の「安心」はとても難しいテーマだと、自分がデザインすることをイメージしていたら頭を抱えてしまいました。
しかし、私たちの心の中や環境にあふれる不安の本質を、解体してシンプルに再構成することで何かヒントをつかめるかもしれません。
都市の日常生活に対応したリアリティーと、デザインがもたらす新しい価値観が融合した、次世代の安心に出会えることを期待します。



原 研哉／Kenya HARA
(グラフィックデザイナー / 武蔵野美術大学教授 / 日本デザインセンター 代表)

「知っていることを知っている」世界と「知らないことを知っている」世界の間で僕らは生きているが、その外側に「知らないことすら知らない」世界があるらしい。ニーズに合わせてものを作るのではなく、期待されてすらいけないけれども、実現するときとみんなが好きになる、と想像しながら「だったりして！」と表現してみる。クリエイティブとはそういう姿勢のことだと思う。ミッドタウンアワードへの期待も同じである。



photo by Eiki Mori

水野 学／Manabu MIZUNO
(アートディレクター / クリエイティブディレクター / good design company 代表)

2011年3月11日14時46分18.1秒。「あの日」以来、我々日本人の価値観は大きく変化したように感じます。これまでにくらべて「より本物」や「より正しい物」を求めるようになったのかもしれませんが。
時代とともに進化を遂げたデザインこそが、これからの社会を変えていけるのだと信じています。一人でも多くの方が参加することで、良いものが生まれる可能性も上がります。少しでも多くの「みんなのためになるデザイン」が現れることを期待します。

3. デザインコンペ 受賞作品の商品化事例

デザインコンペでは、入賞作品発表後、東京ミッドタウン内の店舗をはじめ各所と商品化に向けた活動を進めていきます。2012年6月に発売を開始した「節電球」(昨年の東京ミッドタウン特別賞受賞作品)をはじめ、これまでに5作品が商品化され、話題を呼んでいます。今年はどうのような人気商品が生まれるか、ぜひご期待ください。



【商品名】節電球 (セツデンキュウ)

【価格】1,050 円(税込)

【賞】2011 年 東京ミッドタウン特別賞

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」他

【商品概要】

節電球は 1 日分のあかりを灯してくれるろうソク。溶けてゆく節電球が、節電量を視覚的に教えてくれます。節電球を 1 つ使うことで、1 日分の電気を節電できます。

【作家名】浅木 翔・長砂 佐紀子



【商品名】富士山グラス (フジヤマグラス)

【価格】3,776 円(税込)

【賞】2008 年 審査員特別賞 (水野学賞)

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」、「THE COVER NIPPON」他

【商品概要】

世界中どこにいても日本を意識できる、ドリンクを注ぐと富士山ができあがるグラス。赤富士や黒富士など注ぐものによって様々な表情を見せます
審査員・水野学氏デザインの桐の木箱入りで豪華な仕様です。

【作家名】鈴木 啓太



【商品名】okokoro tape (オココロ テープ)

【価格】525 円(1 個・税込) / 1,029 円(3 個セット・税込)

【賞】2008 年 審査員特別賞 (小山薫堂賞)

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」、「THE COVER NIPPON」他

【商品概要】

日本人の謙虚な心をメッセージ化し「つまらないものですが」と書かれたマスキングテープ。簡単に剥がし貼りが可能です。

【作家名】富田 知恵



【商品名】さくら石鹸

【価格】1,575 円(税込)

【賞】2008 年 一般の部 グランプリ・東京ミッドタウン・オーディエンス賞

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」、「THE COVER NIPPON」他

【商品概要】

さくらの花びらに見立てた薄紅色の石鹸。湯船に浮かべれば春爛漫の爽やかな雰囲気になります。

【作家名】近藤 真弓



【商品名】くつくつした

【価格】1,260 円(税込)～

【賞】2008 年 審査員特別賞 (内藤廣賞)

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」他

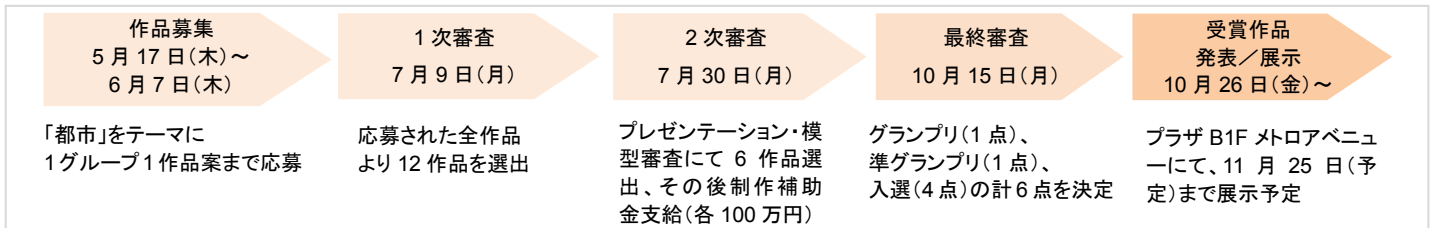
【商品概要】

「靴を脱いであがる」という日本の文化を具現した靴をデザインした靴下。
財団法人日本産業デザイン振興会主催「2009 年度グッドデザイン賞」
(G マーク)を受賞しました。

【作家名】村山 譲治

4. 今後のスケジュール

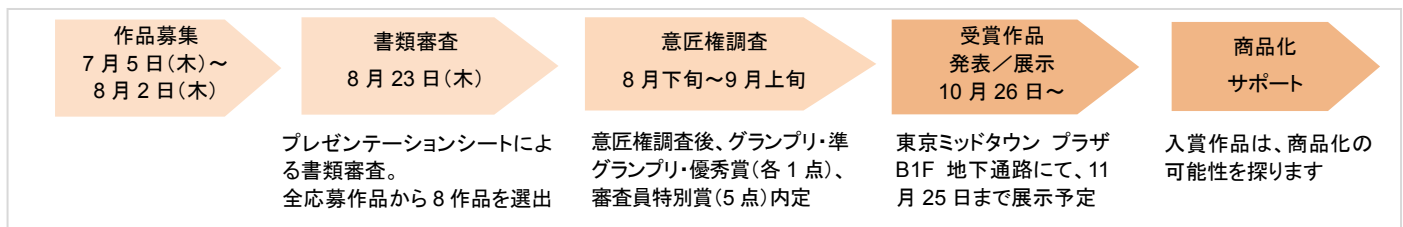
＜アートコンペ＞審査の流れ



アートコンペでは、6月7日(木)に書類による応募を締め切り、1次審査で12作品を選出。2次審査では、応募者によるプレゼンテーション及び模型審査を行い、最終審査に進む6作品を決定します。審査には、アートコンペ審査員5名全員が参加します。入選作品を選ぶだけでなく、結果的に落選となってしまう応募者にも、よりよい作品への“ヒントを与える”審査であり、「Tokyo Midtown Award」が“育成型コンペ”たる所以とも言える審査会です。

2次審査は、ウェブでお申し込みいただいた一般の方(先着で50名様)にご見学いただけるほか、報道関係者の皆様にも公開させていただきます。

＜デザインコンペ＞審査の流れ



デザインコンペでは、現代社会でより一層重要性を増す「安心」をテーマに、7月5日(木)からデザインの募集を開始します。応募作品は書類審査を経て、10月下旬に受賞作品8点が決定します。書類審査も報道関係者の皆様に公開させていただきます予定です。

5. 六本木のデザインとアートと人をつなぐWEBマガジンサイト「六本木未来会議」更新中！

東京ミッドタウンは、六本木エリアのデザインやアートに関する情報を集約して発信する、WEBマガジンサイト「六本木未来会議」(<http://6mirai.tokyo-midtown.com>)を6月6日(水)に公開しました。

本サイトは、今年で5回目となる「Tokyo Midtown Award」を主催する東京ミッドタウンが、「デザインとアートの街 六本木」を活性化すべく立ち上げました。六本木エリアの主要なデザイン・アート施設や六本木商店街振興組合と協力し地域一体で取り組みを行います。第一線で活躍するデザイン・アート界のキーパーソンにインタビューを敢行し、「これから六本木はどうあるべきか」といったテーマのインタビューをお届けするなど、本サイトを通じて、デザイン・アート界から六本木を盛り上げます。また同エリア内で実施中の展覧会・イベント情報や、デザインやアートに関する最新の情報を随時発信しています。(7月4日は(水)は、「Tokyo Midtown Award」デザインコンペ審査員でもある、グラフィックデザイナー佐藤卓さんのインタビュー記事が更新されます。)



▲ 六本木未来会議 イメージ